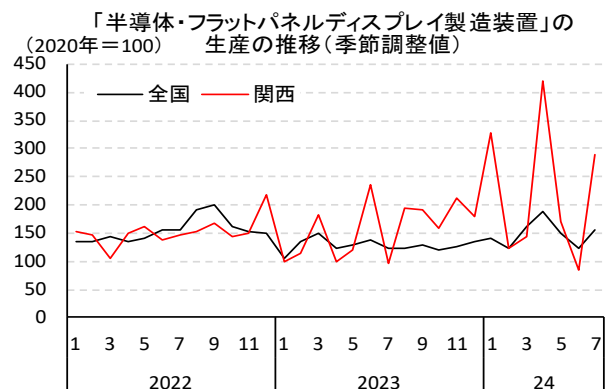
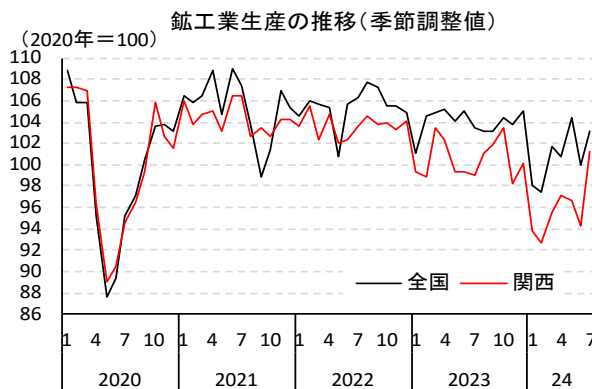
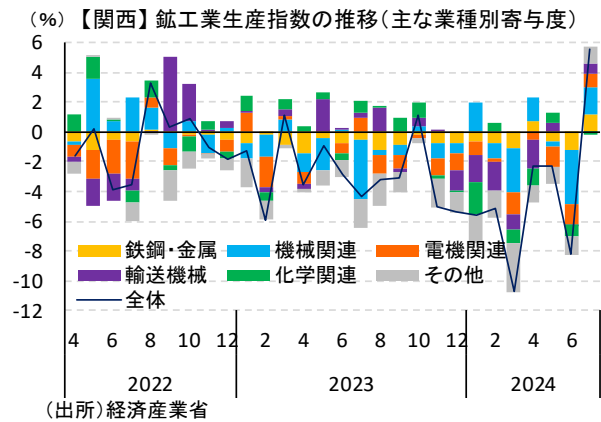
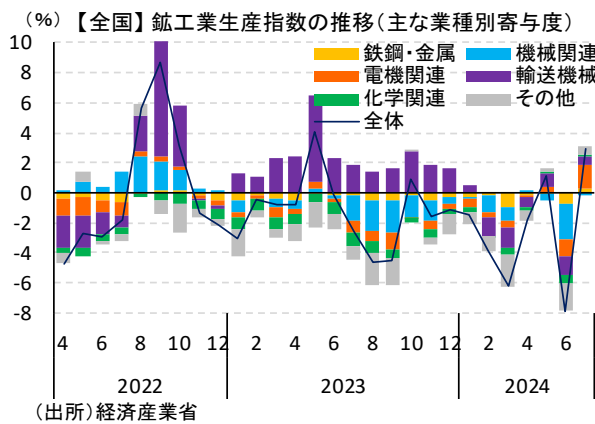


関西の景気トピックス【鉱工業指数（24年7月）】

- 24年7月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の確報データによると、生産（原数値）は前年比で5.6%増と、9か月ぶりの増加となった。業種別には半導体製造装置等の機械関連の増加が目立つほか、建設用金属製品などの増加も比較的大きい。
- 今月は全国でも増加の動きがみられたものの、季節調整値の推移をみる限り、長期的な減少傾向が続いている点は否めず、先行きを含めて楽観はできない状況とみられる。
- 関西ではこのところ、「半導体・フラットパネル製造装置」の増加が目立っており、今月も生産全体を大きく押し上げる形となっている。輸出統計では、中国向けの半導体製造装置の輸出が継続的に増えていることから、こうした輸出の増加が生産増につながっているとみられる。中国経済の状況は決して芳しくない中、いつまで続くかは不透明感も強く、今後の推移が注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。